



様式第4号（第6条関係）

令和元年8月6日

富士見市議会議長 篠田 剛 様

会 派 名 21・未来クラブ
代 表 関野 兼太郎

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和元年8月1日～8月2日（2日間）
- 2 参加者名 関野兼太郎 田中栄志 尾崎孝好 斉藤隆浩 上杉考哉
吉原孝好 佐野正幸 （8月2日は上杉、吉原 欠席）
- 3 場所（行政視察地・研修場所）
東京ビッグサイト 7階国際会議場（東京都江東区有明3-11-1）
- 4 調査・研修概要
全国地方議会サミット2019～チーム議会が地域をより良くする～

■1日目（8月1日）

<基調講演> 「なぜ今“チーム会議が”必要なのか」

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

- ・二元代表制の必要性。地方の事は地方議員が変える。議会で活動する意義についての講演。

<パネルディスカッション> 「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

江藤 俊昭氏（山梨学院大学教授）

杉田 淳氏（NHK報道局選挙プロジェクト副部長）

久保 隆氏（NHK報道局選挙プロジェクト記者）

- ・アンケートをもとに、議員を8類に分け特徴を分析し、結果を踏まえながら今後を考える、参考になる提案。

<パネルディスカッション>「チーム議会に職員だからできること」

清水 克士氏（滋賀県大津市議会局次長）

小原 昌江氏（岩手県北上市議会事務局議事課長）

岩崎 弘宜氏（茨城県取手市議会事務局次長）

小林 宏子氏（東京都羽村市議会事務局長）

- ・事務局職員の本音を聞くことができた。事務局職員と議員が意見交換をして、論点や視点の話し合いを持ち、チーム議会をつくる。

<先進事例紹介>「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その1）」

松田 崇義氏（株式会社メディアドウsmart書記事業部長）

- ・海外でのテクノロジーやITを駆使しての活用例と同時音声文書おこしソフトの紹介。

<講演>「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

片山 善博氏（早稲田大学教授、元総務大臣）

- ・首長サイドは提案者であり、議会は決めること。決定したら責任を持つ事が一番必要な事であり、今の地方議会を変えていく必要があるとの講演。

<総括> 北川 正恭氏(早稲田大学名誉教授、元三重県知事)

- ・地方創生ができるために、変わった人も多いが本気の人も多い、議員全員で地方から国を変えることができるのがチーム議会である。

■ 2日目（8月2日）

<先進事例報告>「チーム議会の実践と課題」

千葉 茂明氏（月間ガバナンス編集長） 早苗 豊氏（北海道芽室町議会議長）

諸岡 覚氏（三重県四日市市議会議長） 梅村 均氏（愛知県岩倉市議会議長）

- ・3自治体からの議会改革の先進事例、住民参加の必要性などの発表。

<パネルディスカッション>「チーム議会の視点から首長との関係を考える」

北川 正恭氏(早稲田大学名誉教授) 谷畑 英吾氏（滋賀県湖南市長）

越田 謙治郎氏（兵庫県川西市市長） 上村 崇氏（京都府京田辺市長）

- ・北川氏が自身の選挙でのマニフェストの重要性を語った。また、3首長からは、議会の民主性を重視し、意思決定した後はどうしているのか、議会は

理想を言うことも大切ではないか、議会議員内で討議をしているのかなどのアドバイスがあった。

<先進事例報告>「チーム議会の視点から選挙のあり方を考える」

中村 健氏（早稲田大学マニユフェスト研究所事務局長）

則武 宣弘氏、中原叔子氏、林敏宏氏（公明党岡山市議団）

・選挙時に会派で4年間の行動プランを作成し、議員活動に連動していく。

<先進事例紹介>「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その2）」

米田英輝氏（東京インタープレイ株式会社代表取締役）

・議会ペーパーレス化のアプリ、SideBooksの紹介。

<パネルディスカッション>「チーム議会の視点から市民との関係を考える」

佐藤 淳氏（青森中央学院大学准教授）

瀧野 良枝氏（長野県飯綱町議会議員、元飯綱町議会政策サポーター）

竹下 修平氏（愛知県新城市議会議員、元新城市若者議会議長）

原口 佐知子氏（静岡県牧之原市市民ファシリテーター）

田口 裕斗氏（岐阜県可児市議会高校生議会、現立命館大学3年）

・市民として議会と携わり、優しさを感じた。議会の役割は良い市民をつくること。

<パネルディスカッション>「国会は地方議会をどうみているか」

石破 茂氏（自由民主党衆議院議員、元地方創生担当大臣）

稲津 久氏（公明党衆議院議員、党地方議会局長）

逢坂 誠二氏（立憲民主党衆議院議員、元二セコ町長）

廣瀬 克哉氏（法政大学教授）

・将来どうなるかを語り、地方創生時代に生きる議員に期待すると話した。

<総括> 北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

・集まった議員が少しずつ気づき、これが大きな力になる。

5 感想及びまとめ

今回参加したサミットは、地域を変えるためには議員だけでなく、議会事務局、執行部、市民、有識者などが団結して、「チーム議会」となることの必要性を確認する場であった。また、今、議会改革の先進的事例を拝聴するこ

とにより、今後の議会のあり方を知る場でもあった。

議会は市民のために何ができるかを考え、首長（執行機関）から提出された案件を決定する機関として、責任を持つ事が地方創生につながると考える。

議員としての責任ある仕事も増えているので、まず議員同士が語り合い一つになり、議会と事務局と一緒に考え「チーム議会」をつくり、議会全体で執行部と話ことで新たな「チーム議会」が生まれ、そして市民との対話により、また「チーム議会」ができる。そうなる事により地域がより良くなると感じた研修であった。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管